

●八王子市職員の能力開発

自	主	研	究	<p>本市では、職員の自己啓発支援の一環として、市政を取り巻く課題などについて調査研究するグループ活動を支援しています。</p> <p style="text-align: right;">八王子市総務部職員課人材育成担当</p>
グ	ル	ー	プ	
活	動	紹	介	

地方分権が進展する中で、自治体自らが政策責任の主体となって、多様化する住民ニーズに応えていくことが求められています。このため、自治体職員に求められる能力・役割は変化しており、従来の公務員の枠にとらわれない柔軟な思考で、自ら課題を認識し、解決できる自立型の職員を育成していくことが自治体における重要な課題となっています。本市では、2001（平成 13）年に『人材育成基本方針』を定め、「人事制度」、「職場づくり」、「研修制度」を一体として、職員の育成に取り組んでいます。

ここで紹介する自主研究グループ活動への助成制度(※)は、研修制度の要の一つである自己啓発への支援です。この制度には、制度を設けて以来延べ 68 グループ 622 名の職員が参加してきました。ここ数年は、市の現状や課題を幅広く学ぼうという勉強会や、自らの業務を深く調査研究することで、業務への精通やスキルアップを図ろうとする活動も行われています。

2013（平成 25）年度は、これから紹介する 6 つのグループが活動を行いました。

グループ名	テーマ
プロジェクトH(H a c h i o j i)	新人職員からみた「八王子市役所」の現状と課題
業務マニュアル研究会	引き継ぎを容易にするための業務マニュアル研究
スクールランチ	児童、生徒への食に関する授業等指導案、教材作成
まち・路地・商店研究会	賑わいのあるまちの調査、当市の状況との比較分析
公共的建築研究会	市有施設及び市内公共施設等を含めた公共建築の可能性についての考察
基礎的職務能力の向上を目指す会	自治体職員に求められる基礎職務能力の向上

(※) 自主研究グループ活動助成制度とは

市政の様々な課題について自主的に調査研究を行う 3 名以上の職員のグループ活動を支援し、自己啓発意欲の高揚や政策形成能力の向上を図ることなどを目的としています。助成の対象は、図書などの購入費や指導・助言者に対する謝礼などです。また、2005（平成 17）年度からは、都市政策アドバイザーから活動内容に対する助言を受けられるようになっています。

注) 各グループの「メンバー紹介」に記載されている所属及び氏名は、2014（平成 26）年 3 月末時点のものです

プロジェクトH (H a c h i o j i)

代表：八王子市道路交通部交通事業課 田中 崇広

●研究目的

私たちのグループは、市職員としての業務経験や知識を共有することで、自身の業務に捉われない広い視野を持ち、業務能力の向上を図ることを主な目的として活動しています。また、フレッシュな視点を持つ若手の職員だけで活動しているため、入庁前に個々に持っていた初心と現在の状況とのギャップを認識し、改善に向けた提案をすることも目指しています。

●研究内容

活動は月1回程度、主にグループワーク形式で以下の内容について各自で発表・共有し、ブレインストーミングで意見を出し合うことで、幅広い知識と視野を得ることが出来ました。

- 1 自分の携わる仕事や関連する業務内容についての発表・共有
- 2 メンバー内で共有した各々の業務に係る経験や実感したことの、以下の3つの視点による整理・意見交換
 - (1) 入庁前に想像していた視点（客観的な市民としての視点）
 - (2) 公務員としての視点
 - (3) 改善に向けた視点（本当は自分ならどうしたいのか）



ブレインストーミングにより幅広い意見を抽出

●代表者コメント

今後、これまでの活動で得た内容について課題整理のうえ解決策を研究し、メンバー内で共有していきたいと考えています。その際には他自治体の事例に限らず、民間企業等の知識を取り入れていきたいと思えます。

●メンバー紹介

所 属	氏 名	所 属	氏 名
交通事業課	田中 崇広	環境保全課	辻 律人
市民課	秋山 久美子	情報管理課	小島 紀之
土地利用計画課	吉原 豊	経営管理課	馬場 奈那子
資産税課	齊藤 涼	生活福祉第一課	渡辺 高志
環境政策課	森居 宏子	保険収納課	野沢 翔吾
公園課	生天目 美咲	労務課	森本 健太
安全衛生管理課	田村 萌	市民課	矢橋 真里奈
建築課	丹澤 智行		

スクールランチ

代表：八王子市学校教育部保健給食課 原 麻岐

●研究目的

私たちは、小中学校給食を担当する栄養士のグループです。日々の業務として、小中学校給食の献立作成や栄養管理のほか、児童・生徒、市民に生涯健康に過ごすための知識を身に付けてもらうことを目的に食育にも携わっており、メンバーの知識と経験を活かし、授業や講演での食育活動の際に使用する資料をより良いものとするための研究を行い、資料を作成しました。

●研究内容

依頼のあった内容に合わせて、2つの講演資料（パワーポイント）を作成しました。

1. 「楽しもう！健康な人生」（中学2年生に向けた50分の講演）

生涯健康で過ごすために、今から習慣にしておきたい7箇条を知り、それを自分に当てはめることで今後どのように生活をすればよいかを考える、という内容です。

授業を受けている生徒は、自分の生活習慣に特に問題があるとは思っていませんが、本当にそれが正しいのかどうかを授業の中で確認できる内容になっています。

2. 「学童期のスポーツ栄養」（ジュニアスポーツチームの指導者と保護者に向けた1時間の講演）

食事バランスガイドの使い方の指導、ジュニアのスポーツ栄養で気を付けるべきこと、プロのアスリートの栄養改善実践例の紹介など、という内容です。

スポーツ栄養の話初めて聞く方に向けた分かりやすい内容で、スポーツ栄養に興味を持ってもらえるように、知名度のある選手の事例を多く紹介するなどの工夫をしています。



講演の様子

朝ごはんをしっかり食べさせよう！

- 1 **体のリズムを整える**
朝ごはんは1日の活力・エネルギー源
- 2 **体温を上げる**
- 3 **脳にエネルギーを補給する**
脳の栄養不足→集中力・記憶力の低下

「学童期のスポーツ栄養」講演資料の一部

●代表者コメント

小中学校の栄養士であるとともに、地域の栄養士として、広く市民へ情報を発信していきたいと思います。

●メンバー紹介

所属	氏名	所属	氏名
いずみの森小中学校	安齋 祥江	保健給食課	原 麻岐
七国小学校	田口 美保		

まち・路地・商店研究会

代表：八王子市まちなみ整備部建築指導課 橋本 英章

●研究目的

私たちのグループは、わがまち八王子のまちの魅力向上や商業地域の活性化に向けて参考となるものを探ることを活動の目的としています。賑わいのあるまちはなぜ賑わいがあるのか、なぜ人を惹きつけるのかについては、様々な要因が考えられます。私たちはその中で、注目すべき賑わいのあるまちを取り上げ、そのまちが持つ魅力や、賑わいの核となっている要素について研究しました。

●研究内容

定例勉強会を月2回開催し、賑わいのあるまちの話題や魅力について考えるフリーディスカッションを重ねていきました。主に八王子の商業地（駅周辺市街地）について、隣接する市や話題性のある賑わいのあるまちを比較対象として取り上げ、まちの特性や魅力の要素等を定量的、定性的観点から比較し、情報収集分析や考察をする試みとしました。また、フィールドワークとして、下北沢や吉祥寺のまちを訪れ、賑わいや魅力的な路地空間を体感し、その魅力的要素を再発見したほか、ゲスト講師として、八王子を中心にグラフィックデザインやホームページ制作、市内の店や人などを紹介するフリーペーパーを発行している、有限責任事業組合トリッキー代表の中村文子氏と、市内で経営者向けの勉強会を主催されている、うさぎや株式会社代表取締役の小俣能範氏を迎えた勉強会を開催し、両氏のこれまでの仕事や活動、取り組みなどについて聞くことで、まちづくりに関する新たな視点や知識を得る機会を得ました。



ゲスト講師を迎えた勉強会

●代表者コメント

“賑わいのあるまちづくり”や“商店街の活性化”という言葉は様々な場面で耳にします。親しみのあるわが街の活性化については、誰もが関心を持っていることであり、かつて賑やかだったまちを活性化し、賑わいを取り戻したいと願うことは当然のことであると考えます。

その反面、自らまちの魅力に気づいていない面もあります。そこで、勉強会ではメンバー各自の持つ知識や経験を基に、まちの持つ魅力を再発見し、それらを活かすにはどうしたらよいかについてディスカッションを重ねました。また、まちづくりに関連した活動を実際にされている方々を招いた勉強会では、客観的かつ広範な視点からの意見交換ができましたので、これを今後の活動の参考としていきたいと思えます。

●メンバー紹介

所属	氏名	所属	氏名
建築指導課	橋本 英章	資産税課	上原 洋八
スポーツ施設管理課	井上 高臣		

公共的建築研究会

代表：八王子市まちなみ整備部建築審査課 五明 信一

●研究目的

私たちのグループは、これからの公共的建築に求められるものは何か、また現存する市有施設及び市内公共施設等を含めた公共的建築の可能性をどうとらえるべきか、事例を踏まえ、そのプログラムや成立過程について考察・研究することで、今後の職務に活かすという目標のもと活動してきました。

●研究内容

勉強会は原則月2回の開催で、主に公共的建築の実態と既存建築物の維持管理に関連した課題図書を事前に参加職員が精読し、問題意識を高め合います。具体的には、スクラップ・アンド・ビルドからストック・アンド・リノベーションへとという時代の潮流の中、公共的建築及びそれに類する建築がさまざまな問題に直面していることから、最近の注目すべき建築（事例）を取り上げ、それらが担う使命や役割を調査し、将来に向けた公共的建築の役割や具体的なプログラムを探究するとともに、公共的建築の成立過程（市民ニーズ等の反映、基本構想策定及び企画等）について考察しました。勉強会はレジュメを基に進行し、課題図書の内容を中心にフリーディスカッションを行いました。また参加を希望した職員のほか、株式会社青木茂建築工房設立主宰（首都大学東京研究戦略センター教授）の青木茂氏をゲスト講師としてお招きし、より実践的で、実態に即した内容も盛り込みました。

課題図書		
長寿命建築へ（リファインニングのポイント）	青木 茂	建築資料研究社
リファイン建築へ（建たない時代の建築再利用術）	青木 茂	建築資料研究社
朽ちるインフラ	根本 祐二	日本経済新聞出版社

●代表者コメント

高度成長期から50年以上が経過し、全国の自治体で、公共施設の維持管理を継続するか、建て替えかという問題に直面しています。しかも多くの自治体が、スクラップ・アンド・ビルドを続けるには財政的にも困難であり、近年の異常気象等を鑑みても、地球環境に負荷の小さい建築のあり方が求められています。勉強会でのディスカッションを何回かこなすうちに、こうした建築の実態にリファインニングという手法で、建築基準法を順守しつつ、耐震性も十分である建物を実現しようとしている建築家に注目することとなり、ゲスト講師としてお迎えしました。既存建築物の可能性に賭けた建築家が、建築主と時代のニーズにこたえながら奮闘する姿から新たな発見と可能性を求め、公共的建築かかえる問題のヒントを得ることが出来ました。今後は、市内の公共的建築に焦点をあて、より具体的な方向にテーマを進めようと目論んでおります。



ゲスト講師による講義

●メンバー紹介

所属	氏名	所属	氏名
建築審査課	五明 信一	建築指導課	橋本 英章
建築指導課	露崎 拓		

基礎職務能力の向上を目指す会

代表：八王子市医療保険部成人健診課 杉山 浩一

●研究目的

私たちのグループは、地方自治の諸分野に関する知識を深めること、文献・資料を的確に要約する能力、所定の条件で分かりやすくプレゼンテーションする能力、文献・資料及び他者の意見に対して的確にコメントする能力の4点を基礎的な職務能力として定め、これらの能力の向上をはかり、政策形成や業務改善等の実務へ生かすことを研究の目的としています。

●研究内容

勉強会は毎年4～5回程度の開催で、主に地方自治に関連した課題図書1冊を事前に精読し、レジュメをA4表裏1枚以内で作成します。当日はレジュメを基に5分程度で発表し、フリーディスカッションを行っています。勉強会には、参加を希望した職員のほか、座長とアドバイザーを置いています。座長は公益財団法人日本都市センターの中西規之主任研究員に、アドバイザーには総合経営部の木内部長に就任いただいています。さらに今年度は、1月に聖学院大学特任講師の鈴木潔氏をゲストにお招きし、課題図書の著者自らによる詳細な解説を頂くとともに、より活発な意見交換と市役所内外の人脈の構築を図りました。

開催日	課題図書及び講師	参加者数
平成 25 年 10 月 18 日	『自治・分権再考 地方自治を志す人たちへ』 西尾 勝著 ぎょうせい	5
11 月 15 日	『来るべき民主主義 小平市都道 328 号線と近代政治哲学の諸問題』 國分 功一郎著 幻冬舎新書	6
平成 26 年 1 月 17 日	『人口減少社会という希望—コミュニティ経済の生成と地球倫理—』 広井良典著 朝日新聞出版 【講師】 聖学院大学政治経済学部 コミュニティ政策学科 特任講師 鈴木潔氏	11

●代表者コメント

当会の活動は約10年が経過しましたが、毎年、多くの職員から参加の意思表示があります。2013（平成25）年度は、新規採用職員を含む2人の新規参加職員を迎えることができました。

今後はメンバーの出席率の向上及び当会の活動のPRの充実を図っていきたいと思います。

●メンバー紹介

所 属	氏 名	所 属	氏 名
成人健診課	杉山 浩一	障害者福祉課	清水 雅生
介護保険課	元木 博	都市戦略課付	柳沢 盛仁
ごみ減量対策課	小杉 浩文	管理課	辻 誠一郎
広聴課	倉田 直子	法制課	岩田 恵梨
高齢者いきいき課	椿山 隆之	福祉政策課	横井 優子
都市戦略課	福田 純	土地利用計画課	橘 桃子
施設管理課	最上 和人	介護保険課	荒船 翔哉